

「冒険ランドいおうじま」の今後の活用に関する意見交換会 概要メモ

1 日時・場所

- (1) 日時 令和5年8月30日(水) 19:00 ~ 20:15
- (2) 場所 三島開発総合センター

2 会次第

- (1) これまでのいきさつについて〈説明：教育長〉
- (2) 意見交換会の趣旨・目的について〈説明：副村長〉
- (3) (7月実施の) アンケート調査結果について〈説明：総務課長、副村長〉
※ 「冒険ランドいおうじま」に関するアンケート調査集計」を配布

3 意見交換会の主な内容

- 施設・跡地が鹿児島市から当村に譲渡される際に、施設の解体や更地化の費用は、どこ(誰)が負担するのか。
→ 現状のまま譲渡されることになっている。
- 通信教育学校の候補地とはならないのか。年間の維持費の試算を行っているか。
→ 通信教育学校の候補地となるかについては1つのアイデアとして可能性も含め検討したい。
- 跡地は1つの区画としての利用か。分割して利用するのはどうか。
→ 提案として受け止める。
- 民間(企業・団体・個人事業者)が利用したいという場合、役場のどこが窓口か。申請等の手続の流れはどうか。分割して利用する場合、部分的に更地にしてから当村に譲渡されれば使いやすくなるのではないか。
→ 役場内の所管はまだ決まっていない。手続等の流れについても現段階では未定。
施設・跡地は現状のまま譲渡されることになっている。
- 多くの観光客を呼び込むのは難しいと思うので、自然学校や留学先として活用してはどうか。また、例えばジャンベ留学生も関わってイベントや農業体験などができるようにするとかにより子どもを呼び込むようにしてはどうか。
→ 提案として受け止める。
- 鹿児島市が運営していた期間、冒険ランドいおうじまに来ていた学校は全国からか。コロナ禍前の予約数とキャンセル数を示してほしい。
→ 鹿児島市内の学校が利用していた。

鹿児島市の管理運営であったため、予約数やキャンセル数は把握していない。

○ 施設(跡地)の活用の検討などはどのくらいの期間を見込んでいるのか。またどのように活用方策は決定されていくのか。

→ 検討期間については、アンケート調査・意見交換会の実施案内に記載のとおり、1年間程度を考えているが、いただいた意見等を吟味していく中で、もっと時間を掛けてしっかり検討した方がいいということになる可能性もある。

活用方法の決定プロセスもこれから考えていくことになるが、今後も、皆さまのご意見をなんらかの形でいただきながら、また役場側からも必要に応じて情報提供しながら進めていきたいと考えている。

○ 民間側から活用や利用等を申し出ればやらせてもらえるのか。また、役場だけでなく住民等もメンバーとするプロジェクトチームを立ち上げてはどうか。

→ 活用案の提出方法・受付方法も今後検討していく。

活用案についてお話はいつでも伺う。もっとも、先述のとおり役場内窓口も決まっていないが、役場内で情報共有するようにしておくので、当面は、一番話しやすい部署にお話をいただきたい。

プロジェクトチーム設置の是非も含めて今後検討していく。

○ 維持費も相当程度かかることから、例えばふるさと納税で1千万円寄付すれば譲り渡すといったことを打ち出せば、村のコマーシャルやPRの材料になるのではないか。

→ 提案として受け止める。

○ 建屋をそのまま利用するのであれば、最低限の補修を行った上で譲渡するよう、鹿児島市に求めてはどうか。

→ 現状のまま譲渡されることになっている。

○ 施設・跡地利用を単体で考えるのか、村全体でほかの施設や自然環境などとあわせて一体的に考えるのか。

活用策について、役場内で検討を始めている案はあるのか。

→ ほかの物や事柄やサービスなどとリンクすることができればそれに越したことはないと思う。

役場内で検討を始める前に、皆さまのご意見等を伺う場として今回の意見交換会を開催した次第。

○ 役場として、活用策の検討をどのように進めるとか、民間等にどのようにしてほしいとか、望んでいる形はあるのか。

→ 今の段階では、活用策の検討プロセスなど決まっていることはない。民間が活用することになった場合に役場がどの程度コミット(関与)していくかも決まっているもの

はない。

○ 具体的な収支見通しを立てることも活用策を考える上で必要なもので、鹿児島市に必要な経費を、内訳も含めて、提供するよう求めてはどうか。

→ 必要に応じて鹿児島市の協力を求めながら、得られた情報は、皆さまになんらかの形で共有するようにしたい。

○ 本日出された意見等を持ち帰って、役場内だけで検討するのか。住民や有識者を交えて検討していくのか。

→ 住民や有識者をメンバーとする検討の場を設置するかも含め、今後検討する。

○ 本日これまでに出示された意見等について全て「今後検討」という回答だが、施設・跡地の譲渡を受けるのは令和6年4月1日なのかや利用開始は令和7年4月1日なのか、利用開始に向けた予算は何年度予算で組むのかなど、決まっていることをはっきり示してほしい。

→ 鹿児島市からは令和6年度に譲り受ける。

アンケート調査・意見交換会の実施案内に記載のとおり、利活用策の検討について1年間程度を考えているが、いただいた意見等を吟味していく中で、もっと時間を掛けてしっかり検討した方がいいということになる可能性もある。

検討の過程において、予算組みについても考えていくことになる。

○ 民間からの相談窓口について、さきほどの「当面はどこの課でもよい」という回答ではたらい回しにされることが想定される。窓口は総務課ではないか。あるいは既存の課室等とするのではなくプロジェクトチームをつくってそこが宛先になるのもいいのでは。

→ 役場内の体制が整うまで、役場内で情報共有するようにしておくので、当面は、一番話しやすい部署にお話をいただきたい。

○ 施設・跡地の利活用について、村が直営でやるのではなく、民間が活用するようにしてほしい。利活用策の募集やPRをホームページ上で行うことも必要ではないか。

→ 本日出された意見等を踏まえて検討していく。

○ 冒険ランドいおうじまは、現在、災害時の避難場所になっているが、避難場所が変わるのか。

→ 避難場所になっているということも踏まえて、利活用等について検討する。

○ グランピングやバーベキューが行える施設として整備してはどうか。

→ 提案として受け止める。

- 本日の意見交換会は次回を予定しているのか。本日のような意見交換会を開いてなるべく多くの人に情報を伝え、意見等を聞いてほしい。
 - 活用方法の決定プロセスもこれから考えていくことになるが、今後も、皆さまのご意見をなんらかの形でいただきながら、また役場側からも必要に応じて情報提供しながら進めていきたいと考えている。

- 活用方法の決定プロセスをどのようにするかについても、住民等を交えて決めた方がいいのでは。
 - 施設・跡地の利活用については、全ての施設・区域をいっぺんに利用・活用するのではなく、何回かに分けて施設・跡地を利用・活用していくという方法（スモールスタート）でもいいのでは。また、一定期間のお試し期間を設けてその期間中は負担なく自由に活用できるようにするというのはいかがでしょうか。
 - 決定プロセスをどのようにするか決め方も含め、検討していく。
 - スモールスタートなどについては、提案として受け止める。

- 民間が事業を行うという場合、1社(者)に決めず、数社が共同で事業を行えるというシステムでもよいのではないか。
 - 利活用を検討するに当たっては、いろんな世代を交えて検討する方がよいのではないか。
 - 提案として受け止める。

- 利活用等について決まっている部分と決まっていない部分を明確に示してほしい。また、村が出せるお金はどれだけかというのもし示してほしい。
 - 住民からだけでなく、観光客等からもアイデアが出るかもしれないので、出張所や待合所などにアンケート回収ボックスを設置してはどうか。
 - 利活用までのスケジュール感も決めておいた方がよいのではないか。
 - 利活用策を検討する過程で、今後も、皆さまのご意見をなんらかの形でいただきながら、役場側からも必要に応じて情報提供しながら進めていきたいと考えている。また、検討の過程において、村の支援又は負担の範囲等についても考えていくことになる。
 - 意見等の集め方について今後とも検討する。
 - スケジュール感については、いただいた意見等を吟味していく中で、時間を掛けてしっかり検討した方がいいということになる可能性もある。

- 今現在、冒険ランドいおうじまを利用することはできるのか。
 - 今年度は鹿児島市が管理運営を行っているので、鹿児島市に相談してほしい。当村役場に相談してもらってもいいが、鹿児島市の回答をお伝えする形となる。

以 上